

建設大臣 現場・業者・工種の設定につきまして

この資料では、建設大臣の現場コード・工事コード・工種コードのマスター登録方法と、設定方法につきましてご説明いたします。

1. マスター出力

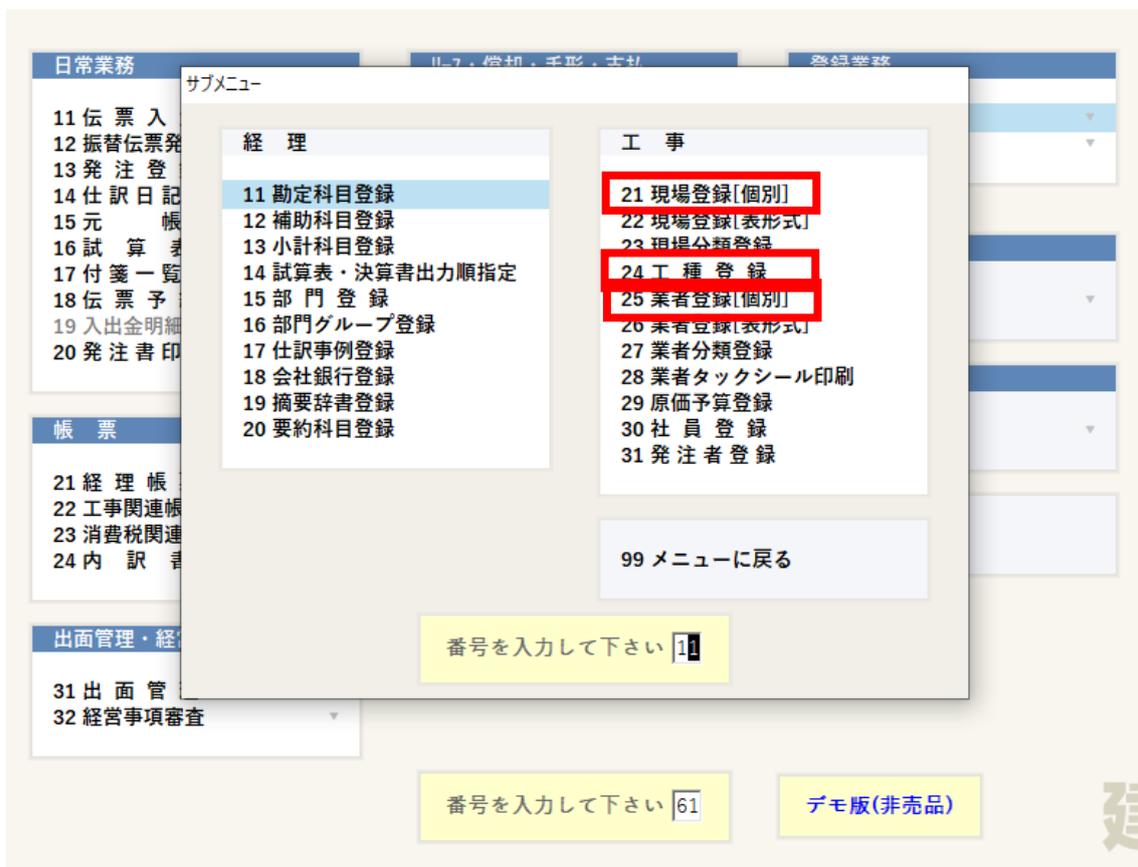
各コードのマスターの出力は「61.マスター登録」を選択するとサブメニュー画面が表示されます。

現場コードの場合は「21.現場登録 [個別]」、

業者コードの場合は「25.業者登録 [個別]」、

工種コードの場合は「24.工種登録」を選択します。

※HAYAWAZA では、建設大臣との自動連動は行いませんので、新規登録後もコードが増えるたびに登録が必要となります。



※今回は現場コードの出力で説明します。業者コード、工種コードの出力は必要に応じて行ってください。

「21.現場登録 [個別]」を選択すると、以下の画面が表示されるので、「F2.出力」を選択します。

建設大目NXSuper - [テスト1 会社コード 1第1期期首日 R 2/ 4/ 1] - [現場登録-修正]

ESC F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

開じる ヘルプ 出力 初期値設定 入力設定 形式 親現場入力 一覧 次空コード

1	現場コード	00000003-00	新規
2	工事コード		
3	現場名		
4	細目名		
5	経理名		
6	検査用力ナ		
7	現場分類	0000: 限定なし	
8	住所		
9	発注者		
10	発注者住所		
11	現場監督	00000000: 限定なし	
12	部門	9999: 諸口	
13	未成/完成	1:未成	
14	工事予定日	令和2年4月1日	~令和3年3月31日
15	完成日	令和3年3月31日	
16	引渡日	令和3年3月31日	20 契約金・消費税 0 0 0
17	坪数	0.00	21 期首残高 0 0

NUM 2021/11/24 水曜

現場指定を「全範囲」にして「ファイル出力」をクリックすると、ファイル出力画面が表示されます。

範囲指定

ESC F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

開じる ヘルプ プリンター設定 詳細設定 範囲指定 全範囲 個別一覧 プレビュー 印刷

現場指定 99: 全範囲 3 / 3

出力項目(ワザタ)
 現場項目 期首残高

出力項目(ファイル)
 現場項目 期首残高

プリンタ名: Microsoft Print to PDF [PORTPROMPT]
用紙種別: A4 [横]

印刷(F12) ファイル出力 メール送信 キャンセル(ESC)

出カタイプ：ASCI 出力

出力ファイル名：ファイル名変更をクリックすると保存先選択画面が表示されますので、必要に応じて選択してください。

区切り文字：カンマ

条件を設定して「OK」をクリックするとマスター出力が実行されます。

2. マスター登録

HAYAWAZAXで事業所を開きます。

「設定」>「建設大臣マスターデータの登録」を選択すると以下の画面が表示されます。

The screenshot shows a Windows-style dialog box titled "建設大臣マスターファイル読み込み - マスターファイルの選択". The dialog contains the following elements:

- A message box: "各種マスターデータの取得方法は、下記よりご確認ください。 HAYAWAZA plus マニュアルは [こちら](#)"
- A text input field for "マスターファイル名" with a "参照(F)" button to its right.
- A dropdown menu for "マスターファイル種別" with the text "[選択して下さい]" and a downward arrow.
- A section titled "処理オプション" with a checkbox labeled "現在のマスターデータを無効にせず、新しいデータを追加する".
- A large central area with the text "ファイルをここにドロップ".
- A footer bar with three buttons: "< 戻る(J)", "次へ(K) >", and "閉じる(C)".



マスターファイル種別

勘定科目・補助科目・部門・現場コード・業者コード・工種コードが選択できます。登録するデータの種別を選択してください。

処理オプション

「現在のマスターデータを無効にせず、新しいデータを追加する」にチェックを入れない場合、過去にマッチングで紐づけをしたデータも無効になります。

追加データがある場合は、「現在のマスターデータを無効にせず、新しいデータを追加する」にチェックを入れてから登録をしてください。

「ファイルをここにドロップ」のエリアにデータをドロップすると、データのファイル選択画面が表示されます。

画面上部にはドロップしたデータファイルが一覧で表示され、画面下部にマスターデータのプレビューが表示されます。複数のデータをドロップした場合は選択下マスターデータファイルの内容がプレビュー画面に表示されます。

ファイル一覧でチェックをつけたデータが登録の対象となるので、必要なデータにチェックをつけます。

データファイルのチェックをつけ、「登録する」を選択すると、確認画面が表示されるので、「はい」を選択します。

選択すると、マスターファイルの登録が開始され、終了時に登録結果が表示されます。

「OK」をクリックすると、マスター登録は完了です。

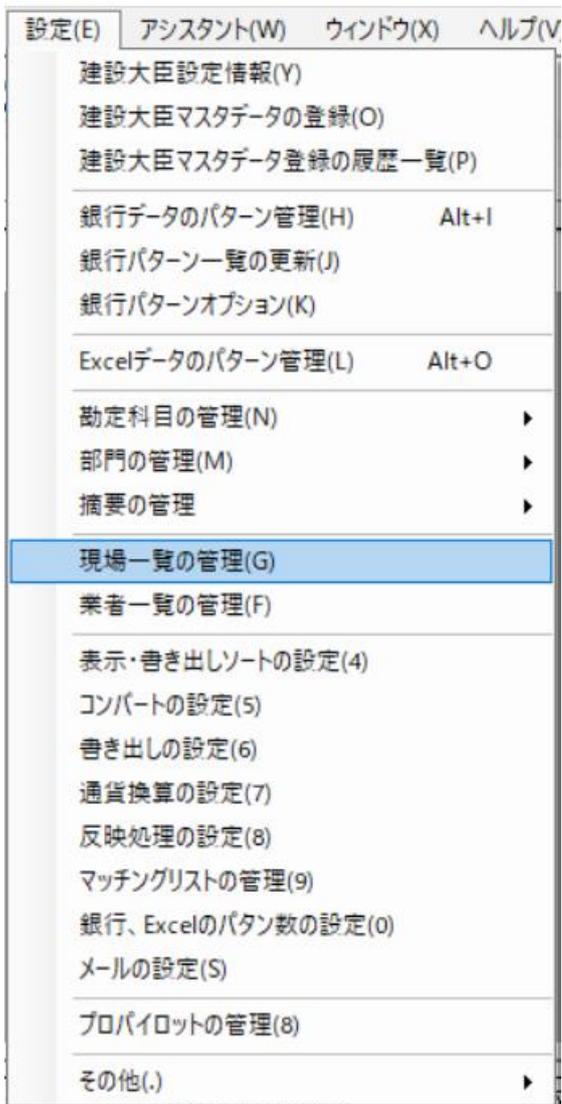
3. 現場・業者・工種コードの設定について

各コードは、HAYAWAZA で設定をすることで、摘要として読み込んだ文字列を現場コード・業者コード・工種コードとして建設大臣への書き出しが可能になります。

HAYAWAZAXで事業所を開きます。

今回は現場コードで説明をします。

「設定」 > 「現場一覧の管理」を開きます。

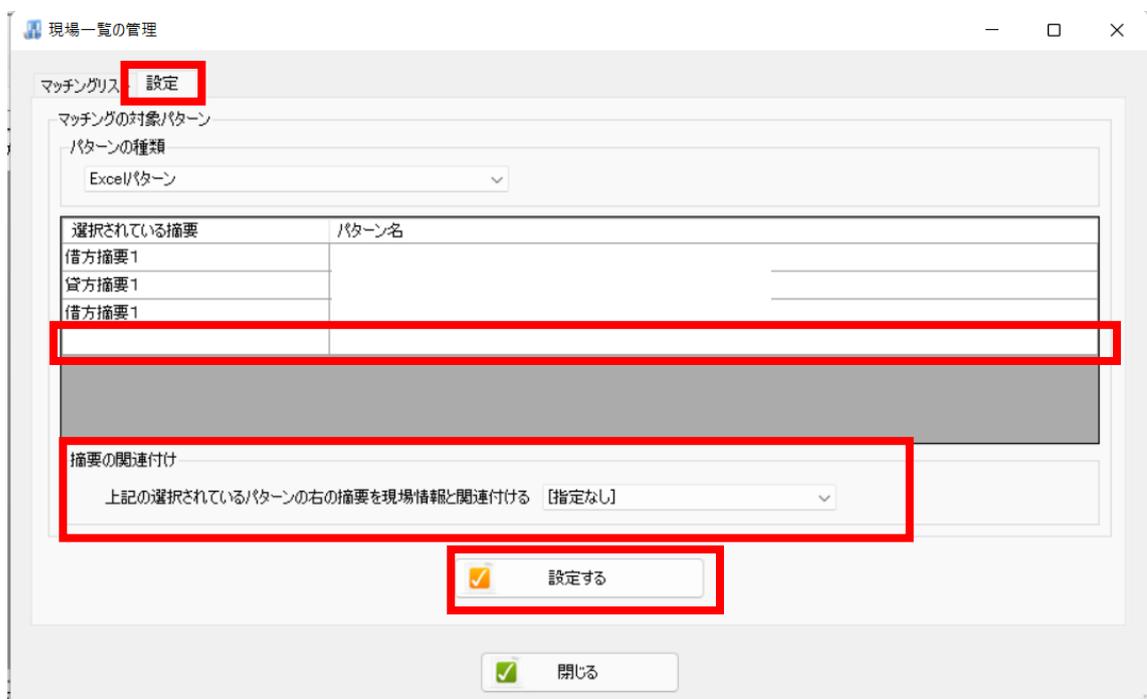


以下の画面が表示されるので、「設定」のタブを開きます。

この画面で、パターンごとに摘要として取り込んだ文字列を、現場コードとして出力する設定をします。

パターン名を選択し、「摘要の関連付け」の「上記の選択されているパターンの右の摘要を現場情報と関連付ける」のプルダウンから現場コードが取り込まれる摘要を選択します。

「設定する」をクリックすると登録できます。



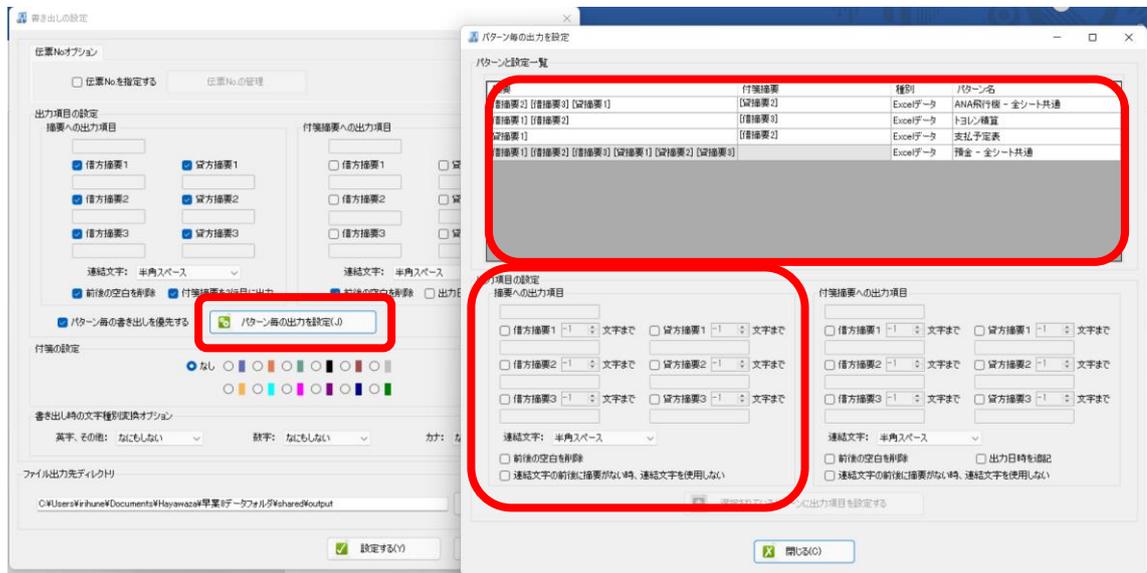
※設定後も、選択した摘要は、摘要の文字列としても書き出されます。

必要のない場合は、設定>書き出しの設定より、パターンごとの摘要の出力の設定を設定するか、

書き出しごとに、書き出しの画面で必要のない摘要のチェックを外してください。

設定>書き出しの設定>パターンごとの設定画面

パターンと設定一覧より、設定したいパターンを選択し、書き出さない摘要にチェックを入れてください。



書き出し画面

書き出し時、摘要への書き出しオプションで不必要な摘要のチェックを外してから書き出しをお願いいたします。

4. マッチングについて

各コードはコンバート時に自動的にマッチングがされますが、取り込んだ摘要に不必要な文字列が入っている場合など HAYAWAZA が自動で判断できないものは、手動でマッチングする必要があります。

「設定」 > 「現場一覧の管理」を開き、「マッチングリスト」のタブを開きます。



「一覧の更新」をクリックすると、摘要として取り込んだ文字列と現場コードの紐づけができなかったデータが表示されます。（表示されない場合は、すべてマッチングされています）

摘要文字：取り込んだ文字列

現場情報：建設大臣から出力されたマスターデータ

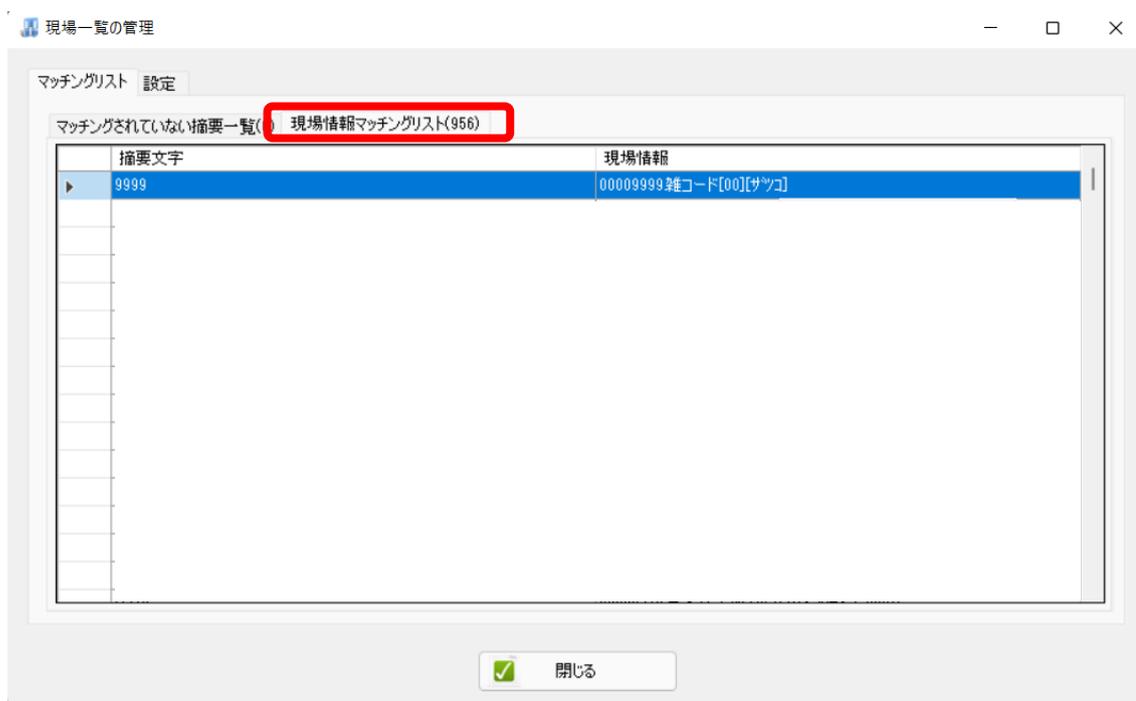
この画面で紐づけを行います。

空欄になっている現場情報をクリックするとプルダウンでリストが表示されますので必要なデータを選択します。セルに文字列を打ち込んで検索も可能です。

マッチングが終了したら、「上記の修正を反映する」をクリックします。

以上でマッチングは完了です。

マッチングの修正は、「現場情報マッチングリスト」のタブより行います。



修正したい設定を選択し、ダブルクリックで以下の画面が開きます。

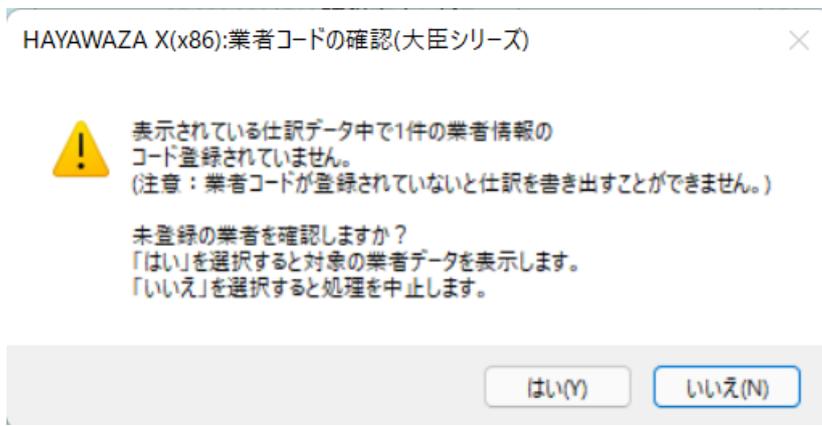


変換先のリストより、修正したいコードを選択し、「登録する」をクリックします。
これで修正は完了です。

書き出しについて

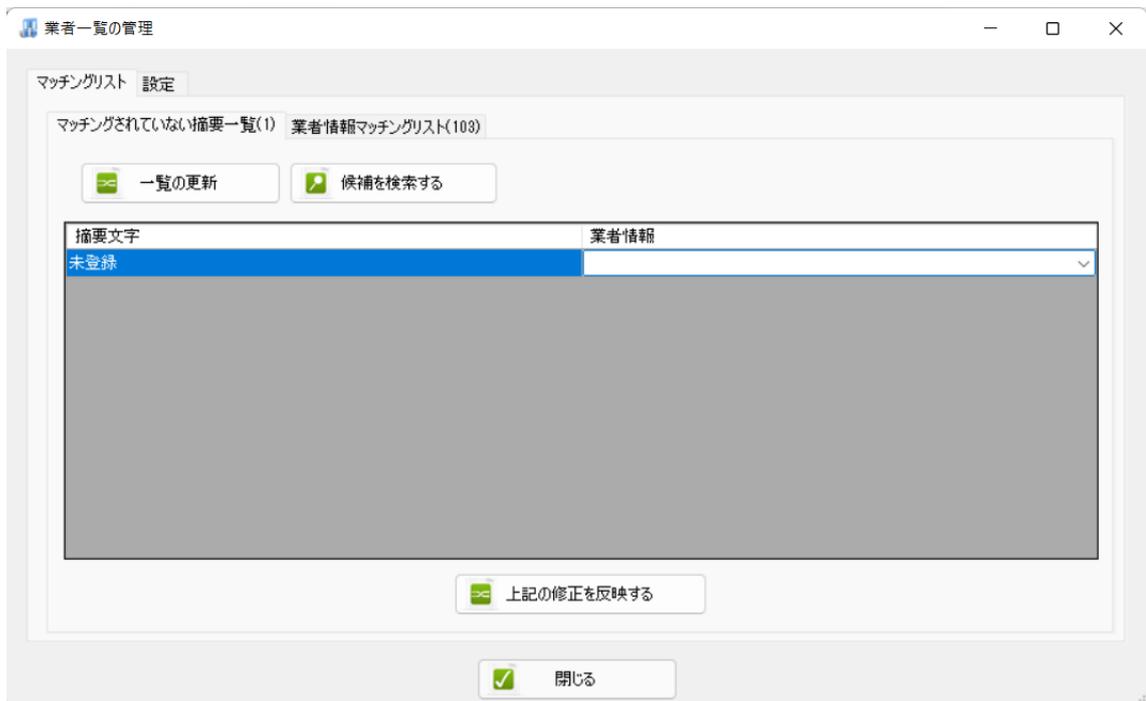
建設大臣版 HAYAWAZA では、マッチングがされていないコードがある場合書き出しができません。

書き出しボタン（上部赤色）をクリックして以下の画面が表示されるときは、摘要の文字列とコードが紐づいておりません。



「はい」を選択すると、マッチングされていない摘要の一覧が表示されます。

「いいえ」を選択すると、書き出しの処理を中止します。



確認後、マッチングされていない摘要一覧から、摘要文字に紐づくコードを紐づけし、「上記の修正を反映する」をクリックします。
全てのマッチングが済みましたら、再度書き出しのボタンより、書き出しの処理をしてください。

以上